

## 8. 共催・協力事業

センターには、さまざまな地域団体や行政、学内他部署などから事業への協力依頼があります。どのように関わるかをセンター内で検討し、学生スタッフおよびコーディネーターとの協働によりそれらの依頼に対応しています。

事業名	関大×関学×龍大 共創チャレンジ スポーツごみ拾い
活動日程	2024年2月28日（水）
活動場所	龍谷大学 ※深草と瀬田の各キャンパスで清掃ルートは異なる
参加人数	（深草）18名（瀬田）16名
企画メンバー （学生スタッフ）	【深草】 馬場康世（文学3） 山下陽菜乃（文学3） 田淵勝士（法学2） 奥田真史（政策3） 靄田優斗（法学2） 西林勇貴（政策2） 三嶋千桜（文学1） 内林克樹（経済1） 井狩咲希（政策1） 宮部汰晴（政策1） 安場こころ（国際1） 【瀬田】 中村あや（社会3） 成川雅妃（社会3） 松村春華（社会3） 関 鉄仁（農学3） 西垣風太（先理1） 西野太洋（農学1）

### 1. 経緯・目的

コロナ禍の影響で他大学との交流が希薄になったと感じていた時に、関西大学ボランティア支援グループから「共創チャレンジ」の一環で実施するスポーツゴミ拾いへの協働企画を呼びかけられた。

企画の目的である「大学間交流の中でボランティア精神の広がりを促進し、ボランティアを楽しむ文化を醸成すること」に共感すると共に、この活動をきっかけに大学間のつながりを深めながら、本センターの活動の幅も広げられるのではないかと考え、参加を決定した。

学内でもボランティア参加を呼び掛けて、活動を通して一緒にポイ捨てについても考える機会を持ちたいと考えた。

※「共創チャレンジ」：大阪・関西万博の「TEAM EXPO 2025」プログラム。

※スポーツゴミ拾い：（一社）ソーシャルスポーツイニシアティブが発案した従来のゴミ拾いに、スポーツ的な要素を加え、楽しさや競技性をもたせた清掃活動。

### 2. 概要

スケジュールは以下の通り

- ① 2/21（水）リハーサル10：00～ コアのみ参加
- ② 2/28（水）本番

※各会場をオンラインでつなぎ、ハイブリッド開催

- 12：00 コア集合
- 12：30 参加者集合、出席確認、ルール説明、班分け、アイスブレイク
- 13：00 開会式、関西大学学生代表挨拶、全体ルール説明
- 13：15 清掃活動開始（会場出発）  
〔深草〕JR 稲荷駅方向、JR 墨染駅方向  
〔瀬田〕学園通り、滋賀県立美術館方面、滋賀県立アイスアリーナ方面
- 14：15 清掃活動終了
- 14：20 各大学写真撮影、ゴミの得点集計
- 14：30 大学間交流
- 15：00 結果発表（優勝したチームの感想）
- 15：10 写真撮影（画面をスクリーンショット）
- 15：20 閉会式 各大学代表者の感想、関西大学学生代表挨拶
- 15：30 アンケート記入後解散

○広報手段

チラシ、SNS 12/22（金）～2/21（木）

### 3. 参加者の声・得られた効果など

- ・オンラインで大学間交流とボランティア活動をすることが出来て、貴重な機会となった。Zoomを使って離れたところでつながって交流できたことも良く、これを機にまたどこかで交流、協力して

いきたい。

- ・グループ内でコミュニケーションをとりながら楽しくごみ拾いをすることができた。
- ・ボランティアをひとつの競争要素にすることも面白く、やりがいがあると今回気づいた。

#### 4. 学んだこと・今後の課題

〔深草〕

- ・他大学との連携の取り方を見直す必要があること。

- ・下見は開催時刻と同じ時間帯に実施し、より予測を正確にすること。

〔瀬田〕

- ・ブレイクアウトルームが同じチーム分けだったので他の大学とも交流したかったこと。

【共通課題】

- ・一般学生への広報について
- ・アンケートの取り方について

〈報告者：三嶋 千桜〉

事業名	龍谷×京産 ボランティアセンター学生スタッフ交流会
実施日	2023年10月7日（日）10時00分～12時15分
場所	京都産業大学
参加人数	学生スタッフ 龍谷大学：23名 京都産業大学：13名

#### 1. 概要

龍谷大学と京都産業大学のボランティアセンターの学生スタッフで交流会を行ないました。

企画は2大学の学生スタッフで行ない、両大学の学生スタッフ間のつながりと今後のボランティアセンターの発展を目指し行ないました。交流会でのワークでは、互いの学生スタッフの役割について情報交換を行ない、自身のボランティアセンターに取り入れてみたい事などについて意見交換を行ないました。



#### 2. 企画学生の感想

開催時期が深草ふれあいプラザや龍谷祭など、様々な企画と重なる時期であったため実現可能かという不安や、他大学との連携が十分に取れるのかといった不安もありました。しかし、交流会を通して自身のボランティアセンターで改善すべき点だけでなく、良い点にも気付くことができたため、交流会を開催して良かったと思いました。また、交流会後に参加したボランティア先で、京都産業大学ボランティアセンターの学生スタッフと偶然にも会う機会があり、つながりが広がったことに嬉しさを感じることができました。

他大学との交流を通してでしか気づけない点やつながりを得ることが、センターの発展につながると強く感じたため、今後も続けていきたいと考えています。

〈報告者：山下 陽菜乃〉

事業名	愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター（CCC） 学生スタッフとの交流会
実施日	2023年11月1日（日）11時00分～15時00分
場所	龍谷大学 瀬田キャンパス
参加人数	学生スタッフ 龍谷大学12名 愛知淑徳大学5名

## 1. 経緯・目的

愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター（CCC）の学生スタッフとコーディネーターがセンター（瀬田）に来室され、センターおよびキャンパス内の見学と、学生スタッフ同士の交流の場を設けました。

キャンパスの見学は学生スタッフが案内し、昼食をはさんで午後はそれぞれの大学の活動紹介をしたり、情報交換を行ないました。



## 2. 参加学生の感想

新型コロナウイルス感染症の影響で他大学との交流が失われてきたなかで、今回のように遠方から来てくださり対面で実施できたことは、とても貴重な経験になりました。また、「ボランティアを広めたい！」という同じ目標をもった学生と意見交換することで、自分たちの活動の再認識と今後につながる新しい発見を得ることができました。

〈報告者：西野 太洋〉

事業名	大津市総合防災訓練への参加
実施日	2023年10月15日（日）9時30分～11時30分
実施場所	大津市膳所市民センター
主催団体	社会福祉法人大津市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター
参加人数	学生スタッフ7名 コーディネーター1名

## 1. 概要

大津市総合防災訓練の一つ『災害ボランティアセンター開設・運営』を想定した訓練が行なわれ、学生スタッフ7名とコーディネーター1名が参加しました。

受付班、ニーズ班、マッチング班、オリエンテーション班、資機材貸出し班、送り出し班に分かれ、班ごとの運営と各班の連携等についての確認を行ない、最後に感想や改善点などの共有を行ないました。

## 2. 参加学生の感想など

- ・オリエンテーション班で説明担当を体験したのですが、ガヤガヤしている中の説明のため、大きな声でゆっくりはっきり話さなければならず、慣れていないため、全くできませんでした。そのため、練習が必要だなと感じました。非常時に自分ができることについて考える、良い機会になりました。
- ・受付班を体験し、災害ボランティアに参加するにはたくさんの手順を踏まないといけないと初めて

知りました。受付をしている間にどんどん改善点が見つかり、繰り返し訓練する重要性を実感しました。

- ・今回初めて運営側として防災訓練に参加させてもらい、様々な班に分かれて連携しながらボランティアを振り分けて現地まで送り出すのだということ学びました。今まで参加者側でしかボランティアに行ったことがなかったけど、運営側もとても大変なんだと感じました。訓練に参加して、大勢のボランティアに対応することを考えると横の連携がとても重要だと感じました。



事業名	映画「ただいま、つなかん」上映会・ミニレクチャー
実施日	2024年2月2日（金）14時00分～17時00分
実施場所	深草キャンパス 成就館 Main Theater 瀬田キャンパス 8号館 B103教室
主催団体	龍谷大学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター
参加人数	51名

## 1. 概要

日本財団ボランティアセンターとの連携協定を活かし、本学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンターとの共催で、宮城県気仙沼市唐桑半島を舞台とした映画「ただいま、つなかん」の上映会と風間監督によるミニレクチャーを実施しました。

東日本大震災により被災したご夫婦が学生ボランティアとの関係性の中で、移住者が生まれ、新たな心の拠り所となっていく過程を描いたドキュメンタリーです。当日は、監督の風間研一氏を特別ゲストとして会場にお招きし、上映後にご講演いただき、学生からも撮影の動機や苦労話など、多くの質問がなされました。



事業名	関西地区大学ボランティアセンター連絡協議会の運営	
実施日	第69回	2023年6月8日(木) 14時00分～16時30分
	第70回	2023年8月2日(水) 14時00分～16時30分
	第71回	2023年10月4日(水) 14時00分～16時30分
	第72回	2023年12月7日(木) 14時00分～16時30分
	第73回	2024年2月8日(木) 14時00分～16時30分
実施場所	第69回、第71回～第73回	オンライン開催
	第70回	深草キャンパス成就館3階306

## 1. 概要

この協議会は大学ボランティアセンターのあり方を検討し、大学ボランティアコーディネーターの専門性向上とセンターの存在価値を高め、認知度向上を目的として、事例検討や情報交換を行なっています。関西地区のボランティアセンターを持つ大学14校と大阪ボランティア協会で構成され、今年度は京都ブロックが運営ブロックとなり、当センターが事務担当として運営を行ないました。

各回の開催内容は以下の通りです。

関西地区大学ボランティアセンター連絡協議会の詳細については右記QRコードよりご確認ください。



開催回数	開催日程	開催内容
第73回	2024年2月8日	【協議】 2023年度協議会のふりかえり、2024年度の協議テーマと今後の協議会のあり方について 【共有】 各大学の近況報告、令和6年総選挙地域選に関する各大学の対応について
第72回	2023年12月7日	【事例共有】 「団体からヒアリングした情報の扱い、団体との連携について」 (立命館大学サービスラーニングセンターのコーディネーターによる活路提供) 【協議】 各大学の近況報告、課題提供を受けての意見交換
第71回	2023年10月4日	【事例共有】 「団体とのやり取りについて」 (聖谷大学ボランティア・NPO活動センターのコーディネーターから活路提供) 【協議】 各大学の近況報告、課題提供を受けての意見交換
第70回	2023年8月2日	【事例共有】 事前に各大学から提出された事例「イベントとボランティア」 【協議】 各大学の近況報告、課題提供を受けての意見交換 【見学】 聖谷大学ボランティア・NPO活動センターを見学
第69回	2023年6月8日	【協議】 2023年度の事業計画、予算案について 【共有】 新入生を迎えて、今年度の学生のボランティアへの関心について各大学の状況 【情報交換】 海外ボランティアツアーの危機管理、不安を感じるボランティア団体からのボランティア募集への対応